

キッズ☆スポコンひろば

令和3年4月20日発行

テーマ「スポーツ・コンプライアンス」って何？

スポコンとスポ根は違う

みなさんは、「スポコン」と聞いて何を連想するでしょうか。ハードな練習、猛特訓にもめげず、ボールをぶつけられ、這いつくばってでも頑張る姿。いわゆる「スポ根」（日本の漫画、アニメ、ドラマにおけるジャンルのひとつ）のドラマや漫画の主人公に、かつて影響を受けた方も多いかと思います。

しかし、スポーツの本来の目的とは何でしょうか。スポーツの語源には、「楽しむこと、気晴らし、遊び」といった意味があります。スポーツとは、一人ひとりの人生を豊かにしてくれる素晴らしい文化なのです。

今、スポーツ・コンプライアンスを略した「スポコン」が新たに注目されています。「スポコン」は、スポーツが健全であるように、スポーツの価値と力を保ち、信頼を高め、広めるために、公正・公平な姿勢を守ること、また、選手だけでなく、指導者・審判をはじめ、スポーツにかかわるすべての人々に求められています。

具体的にどういうこと？

「スポーツ・コンプライアンス」とは、スポーツマンシップの原点を意味します。昨年大流行したアニメ「鬼滅の刃」は、主人公の竈門炭治郎が鬼になった妹の禰豆子を引き連れ、仲間と共に鬼を倒す物語でした。物語の中で、「強く生きろ!」「心を燃やせ」という言葉が出てきており、真っすぐ生きる、人を思いやる優しさを訴えています。

スポーツマンシップとは、「フェアプレーをし、勝負にこだわらない、明るい健康な態度・精神」※1を意味します。ルールを守り、他人を思いやる気持ち、目標に向かって懸命に努力することで、最終的に自分自身で考え、判断する力を育み、人間力の高い選手に成長することができます。



保護者と子どものかかわり方

いわてスーパーキッズでは、受付や準備、届出の記入など、「自分でできることは自分です」、プログラム中は「なるべく見守ることにしてください」ということをご家庭にお願いしており、キッズの人間的な成長や自立も目的としています。その分、家庭のコミュニケーションの中で、「今日は初めて一人でできたね!」「あんなこともできるんだね!」「あいさつが一番元気だったね!」等、子どもの成長をどんどんほめていただきたいと思います。自分の子どもに対する怒りのコントロールが一番難しいと言われるそうですが、「自立した子どもを育てよう」といった大らかな気持ちで、好きで始めたスポーツが苦しいものとなってしまうないように、楽しくスポーツに取り組むお子様を見守っていただきたいと思います。

※1 三省堂「新明解国語辞典」



〔文責〕

岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課 主査スポーツ振興専門員
スポーツ・コンプライアンス・オフィサー
猿舘 祐子